



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 日阪製作所 上場取引所 東
 コード番号 6247 URL https://www.hisaka.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 好和
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長 (氏名) 波多野 浩史 TEL 06-6363-0007
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,686	2.7	645	10.5	824	15.3	866	134.6
2019年3月期第1四半期	7,485	29.9	583	139.3	715	89.1	369	33.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 661百万円 (△15.9%) 2019年3月期第1四半期 786百万円 (△1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	29.81	—
2019年3月期第1四半期	12.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	62,489	50,580	80.8	1,795.84
2019年3月期	63,041	51,691	82.0	1,731.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 50,471百万円 2019年3月期 51,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,200	△0.5	1,000	△14.2	1,150	△13.8	950	17.7	33.51
通期	31,000	0.2	2,100	2.9	2,350	0.5	1,800	12.7	63.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	32,732,800株	2019年3月期	32,732,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,628,066株	2019年3月期	2,877,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	29,085,824株	2019年3月期1Q	29,855,381株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は、2019年8月9日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報（IR情報）	9
(1) セグメント別売上高	9
(2) セグメント別受注高及び受注残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調に景気が回復しましたが、欧州での生産縮小や米中貿易摩擦の影響による中国の輸出減少などもあり、継続していた回復基調に停滞感が見られました。国内経済は、堅調な雇用環境や個人消費から緩やかな回復基調を維持しましたが、設備投資に減速の兆しが見られるなど、先行きは不透明な状況となりました。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間における当社グループの受注高は、前年同期に比べ10.2%増加し8,070百万円となりました。熱交換器事業は国内化学業界や船舶向けの更新・メンテナンス関連が好調に推移し増加となりました。プロセスエンジニアリング事業は染色仕上機器部門が国内の順調な更新・増設需要により増加したほか、医薬機器部門でもメンテナンス案件が増加しましたが、食品機器部門で前年同期に大口案件を受注した反動減があり、同事業全体では減少となりました。パルプ事業は化学業界向けの更新需要が堅調に推移し増加となりました。その他事業は国内子会社で食品機器、中国子会社で食品機器や染色仕上機器などの大口案件を受注し増加となりました。

売上高は、前年同期に比べ2.7%増加し7,686百万円となりました。熱交換器事業は受注と同様に国内化学業界、船舶向けの更新・メンテナンス関連が好調に推移しましたが、半導体、空調関連の中小型汎用品の販売が低調にとどまり横ばいとなりました。プロセスエンジニアリング事業は医薬機器部門で減収となりましたが、食品機器部門でレトルト米飯製造設備の大型案件があったほか、染色仕上機器部門でも国内更新案件が好調に推移し、同事業全体では増収となりました。パルプ事業は好調な受注状況を反映し増収となりました。その他事業はマレーシア子会社で熱交換器、中国子会社で熱交換器や医薬機器の大口案件があり増収となりました。

利益面では、事業拡大に向けた体制強化に伴い人件費が増加しましたが、比較的採算の良いメンテナンス関連の売上増加などにより、営業利益は前年同期に比べ10.5%増加し645百万円となり、経常利益は前年同期に比べ15.3%増加し824百万円となりました。また、特別損益につきましては、前年同期に特別損失として震災関連費用などを計上したことに対し、当第1四半期連結累計期間においては、特別利益として小松川化工機株式会社などの子会社化に伴う負ののれん発生益などを計上しました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ134.6%増加し866百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。(セグメント別の業績は内部取引消去前の金額です。)

(単位：百万円／(%) 前年同期比増減率)

	熱交換器事業	プロセスエンジニアリング事業	パルプ事業	その他事業
受注高	3,200 (13.3%)	3,022 (△4.4%)	1,264 (6.8%)	1,236 (78.9%)
売上高	2,941 (△0.7%)	3,160 (1.0%)	1,137 (3.2%)	868 (36.7%)
セグメント損益	267 (△24.3%)	228 (73.2%)	139 (△6.4%)	△12 (※)

※前年同期は17百万円のセグメント損失

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は62,489百万円となり、前連結会計年度末63,041百万円から551百万円の減少となりました。

これは、有形固定資産3,517百万円等の増加があったものの、現金預金5,344百万円等の減少が上回ったことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は11,909百万円となり、前連結会計年度末11,349百万円から559百万円の増加となりました。

これは、未払法人税等799百万円等の減少があったものの、仕入債務646百万円や繰延税金負債393百万円等の増加が上回ったことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は50,580百万円となり、前連結会計年度末51,691百万円から1,111百万円の減少となりました。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益866百万円の計上等による増加があったものの、自己株式の取得1,582百万円等があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,685	9,340
受取手形及び売掛金	10,215	10,743
電子記録債権	1,715	2,027
有価証券	1,002	1,001
商品及び製品	1,978	2,009
仕掛品	2,200	2,811
原材料及び貯蔵品	1,539	1,610
その他	160	235
貸倒引当金	△3	△0
流動資産合計	33,494	29,779
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,529	6,544
機械及び装置（純額）	1,756	1,684
その他（純額）	3,075	6,649
有形固定資産合計	11,361	14,878
無形固定資産		
ソフトウェア	259	240
のれん	168	162
その他	113	130
無形固定資産合計	541	533
投資その他の資産		
投資有価証券	12,175	12,184
退職給付に係る資産	954	901
その他	4,996	4,693
貸倒引当金	△483	△483
投資その他の資産合計	17,643	17,297
固定資産合計	29,546	32,709
資産合計	63,041	62,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,262	3,580
電子記録債務	2,117	2,445
短期借入金	—	100
1年内返済予定の長期借入金	—	3
未払法人税等	870	71
製品保証引当金	351	268
賞与引当金	643	355
その他	2,689	3,199
流動負債合計	9,935	10,024
固定負債		
長期借入金	—	12
繰延税金負債	1,261	1,655
退職給付に係る負債	111	111
その他	40	104
固定負債合計	1,414	1,885
負債合計	11,349	11,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150	4,150
資本剰余金	8,813	8,813
利益剰余金	36,455	37,023
自己株式	△2,407	△3,989
株主資本合計	47,011	45,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,639	4,534
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	33	△73
退職給付に係る調整累計額	7	9
その他の包括利益累計額合計	4,680	4,474
非支配株主持分	—	108
純資産合計	51,691	50,580
負債純資産合計	63,041	62,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,485	7,686
売上原価	5,666	5,774
売上総利益	1,819	1,912
販売費及び一般管理費	1,235	1,267
営業利益	583	645
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	142	167
持分法による投資利益	—	5
為替差益	—	10
その他	8	8
営業外収益合計	153	194
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	0	0
手形売却損	1	0
持分法による投資損失	10	—
為替差損	7	—
休止固定資産維持費用	—	12
その他	0	0
営業外費用合計	21	14
経常利益	715	824
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	—	253
特別利益合計	0	254
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
投資有価証券評価損	34	—
震災関連費用	150	—
特別損失合計	189	0
税金等調整前四半期純利益	525	1,078
法人税、住民税及び事業税	119	40
法人税等調整額	36	171
法人税等合計	155	211
四半期純利益	369	866
親会社株主に帰属する四半期純利益	369	866

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	369	866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	403	△104
繰延ヘッジ損益	△12	3
為替換算調整勘定	△15	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	1
退職給付に係る調整額	46	1
その他の包括利益合計	416	△205
四半期包括利益	786	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、小松川化工機株式会社の株式を取得したことにより、同社他2社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,750	3,086	1,069	6,906	578	7,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210	42	32	285	56	342
計	2,960	3,128	1,102	7,192	635	7,827
セグメント利益又は セグメント損失(△)	353	131	148	634	△17	617

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	634
「その他」の区分の損失(△)	△17
のれんの償却額	△5
全社費用(注)	△51
棚卸資産の調整額	2
その他の調整額	21
四半期連結損益計算書の営業利益	583

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、旭工業株式会社の重要性が増したため、同社を連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しております。当第1四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は184百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,725	3,127	1,105	6,958	728	7,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	32	32	280	139	420
計	2,941	3,160	1,137	7,238	868	8,107
セグメント利益又は セグメント損失(△)	267	228	139	635	△12	622

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、バイオ・医薬機器装置等の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	635
「その他」の区分の損失(△)	△12
のれんの償却額	△5
全社費用(注)	△14
棚卸資産の調整額	12
その他の調整額	30
四半期連結損益計算書の営業利益	645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「その他」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より小松川化工機株式会社等の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当1四半期連結累計期間においては253百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれんの金額は当第1四半期会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 補足情報 (IR情報)

(1) セグメント別売上高

(単位:百万円)

項目	前四半期 2018年4月～2018年6月		当四半期 2019年4月～2019年6月		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度 2018年4月～2019年3月	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
熱交換器	(204) 2,960	(2.6 %) 37.8	(172) 2,941	(2.1 %) 36.3	(31) 19	(84.4 %) 99.3	(849) 11,997	(2.6 %) 36.7
プロセスエンジニアリング	(414) 3,128	(5.3) 40.0	(677) 3,160	(8.4) 39.0	(263) 31	(163.6) 101.0	(2,006) 12,470	(6.1) 38.0
バルブ	(124) 1,102	(1.6) 14.1	(115) 1,137	(1.4) 14.0	(8) 34	(92.9) 103.2	(523) 4,408	(1.6) 13.4
その他	(412) 635	(5.3) 8.1	(632) 868	(7.8) 10.7	(220) 233	(153.3) 136.7	(1,851) 3,904	(5.7) 11.9
小計	(1,155) 7,827	(14.8) 100.0	(1,598) 8,107	(19.7) 100.0	(442) 279	(138.3) 103.6	(5,231) 32,781	(16.0) 100.0
連結調整額	(136) 342	(-) -	(150) 420	(-) -	(14) 78	(110.7) 122.8	(646) 1,841	(-) -
合計	(1,019) 7,485	(-) -	(1,448) 7,686	(-) -	(428) 201	(142.0) 102.7	(4,585) 30,939	(-) -

注1.()は海外売上高で内書であります。

2.各セグメントの売上高は、連結調整前の金額であります。

3.「その他」は、サンタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、バイオ・医薬機器装置等の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業等、報告セグメントに含まれない事業であります。

(2) セグメント別受注高及び受注残高

(単位:百万円)

項目	前四半期 2018年4月～2018年6月		当四半期 2019年4月～2019年6月		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度 2018年4月～2019年3月		
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	
受注高	熱交換器	(169) 2,826	(2.1 %) 36.0	(176) 3,200	(2.0 %) 36.7	(7) 374	(104.2 %) 113.3	(792) 11,277	(2.4 %) 34.6
	プロセスエンジニアリング	(940) 3,159	(12.0) 40.2	(239) 3,022	(2.8) 34.6	(700) 137	(25.5) 95.6	(4,274) 13,305	(13.1) 40.9
	バルブ	(148) 1,183	(1.9) 15.0	(114) 1,264	(1.3) 14.5	(33) 80	(77.4) 106.8	(555) 4,434	(1.7) 13.6
	その他	(174) 691	(2.2) 8.8	(766) 1,236	(8.8) 14.2	(591) 545	(438.7) 178.9	(1,446) 3,546	(4.5) 10.9
	小計	(1,432) 7,860	(18.2) 100.0	(1,296) 8,723	(14.9) 100.0	(135) 863	(90.5) 111.0	(7,068) 32,564	(21.7) 100.0
	連結調整額	(167) 536	(-) -	(173) 653	(-) -	(6) 116	(-) -	(673) 1,894	(-) -
合計	(1,264) 7,324	(-) -	(1,123) 8,070	(-) -	(141) 746	(88.8) 110.2	(6,395) 30,669	(-) -	
受注残高	熱交換器	(177) 3,973	(1.3) 30.0	(159) 3,648	(1.1 %) 25.4	(18) 325	(89.7) 91.8	(155) 3,388	(1.2) 26.1
	プロセスエンジニアリング	(1,112) 6,472	(8.4) 48.9	(2,416) 7,137	(16.9) 49.8	(1,303) 665	(217.2) 110.3	(2,853) 7,275	(22.0) 56.1
	バルブ	(137) 1,005	(1.1) 7.6	(144) 1,076	(1.0) 7.5	(6) 71	(105.0) 107.1	(145) 949	(1.1) 7.3
	その他	(696) 1,780	(5.3) 13.5	(662) 2,474	(4.6) 17.3	(33) 693	(95.2) 139.0	(529) 1,367	(4.1) 10.5
	小計	(2,124) 13,232	(16.1) 100.0	(3,382) 14,337	(23.6) 100.0	(1,258) 1,104	(159.3) 108.3	(3,684) 12,981	(28.4) 100.0
	連結調整額	(127) 505	(-) -	(145) 596	(-) -	(18) 91	(-) -	(122) 364	(-) -
合計	(1,996) 12,726	(-) -	(3,236) 13,740	(-) -	(1,239) 1,013	(162.1) 108.0	(3,561) 12,617	(-) -	

注1.()は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。

2.各セグメントの受注高及び受注残高は、連結調整前の金額であります。

3.「その他」は、サンタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、バイオ・医薬機器装置等の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業等、報告セグメントに含まれない事業であります。

4.「その他」の当四半期末の受注残高は、当四半期末より連結の範囲に含めた小松川化工機株式会社等の当第1四半期累計期間末の受注残高を含めて表示しており、前連結会計年度の受注残高から当四半期の売上高、受注高を加味した金額とは一致しません。